



市民記者が行く!!

かめやま見てある記

稲作請負人



今から約25年前、阿野田地区で麦の集団転作時、大規模な引き受け耕作を行っていた人の手助けを行ったのがきっかけとなり稲作の請負を始め

られた若林善巳さん(74)、若林正秀さん(69)、豊田由広さん(66)にお話を伺いました。

当初請負を始められた頃は3人ともサラリーマンであり農機も小さく、依頼された3~4町歩(1町歩は約10,000㎡)の耕作に悪戦苦闘をされたとのこと。当時は各自で持ち寄って使用していた農機具でしたが、耕作地も徐々に増えてきたため、3人で共用の田植え機、コンバイン、トラクターなど大型農機具を購入し耕作を続けてきたそうです。

しかし、農業従事者の高齢化による後継者不足や、阿野田地区の平均耕作面積が約3反と狭いた

め、農機具が壊れた際に、農業を諦めた農家さんたちからの依頼が年々増加して、兼業では対応できなくなり、10年前に3人とも退職をして本格的に請負耕作を行うことになったそうです。

現在の耕作面積は、阿野田地区、管内地区、海本地区と広がり35町歩(東京ドーム7.5個分)もあり、総収穫量は3,000俵(180トン)になるそうです。

当初から現在に至るまで農家さんへの勧誘は一切行っておらず、農家の人からの依頼だけに行っているとのこと。

高齢化、後継者不足などに対して25年間行ってきた請負耕作ですが、3人の年齢も60代後半から70代となり、今後は自分たちの後継者を作り育てなければならない課題が発生しています。幸い、40代の若者が一人加わり修行中とのことですので、頼もしい限りです。



市民記者 豊田 康文さん

ハロキッズ

このコーナーでは、元気な亀山っ子の写真を募集しています。掲載を希望する人は、広報秘書グループ(☎84-5021)へご連絡ください。



くさかわ あまね ちゃん 平成31年3月28日生まれ
.....
あまねと一緒に笑顔の未来へ



とよだ ひおり ちゃん(右) 平成27年6月18日生まれ
.....
じゅんだい 絢大 くん(左) 平成30年2月28日生まれ
.....
毎日楽しそうな2人が大好き!

市の人口 9月1日時点 ●総人口 49,707人 (前月比+48) ●男 25,001人 (前月比+27) ●女 24,706人 (前月比+21) ●世帯数 21,555世帯 (前月比+44)

広報かめやま

第339号 令和元年10月1日 発行：亀山市 編集：総合政策部政策課広報秘書グループ 印刷：株式会社一誠堂
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 TEL 0595-82-1111代 FAX 0595-82-9955 ホームページ <http://www.city.kameyama.mie.jp>
広報かめやまは、古紙パルプ配合率80%、白色度80%の再生紙および植物油インキを使用しています。 リサイクル適性